

京都市こどもの感染症^{かんせんしょう}【6月^{はっごうぶん}発行分】

☆☆ これから流行^{はや}りそうなものは…

< 去年の今頃（6月）の順位 >



1 位	感染性胃腸炎	発熱，下痢，嘔吐などが症状。ノロウイルスが有名ですが，その他の色々なウイルスや細菌も原因となり，何回もかかってしまうこともあります。予防のため，手洗いや食品の十分な加熱などを心がけましょう。
2 位	水ぼうそう（水痘）	全身に発しんができます。予防接種は任意（自費）ですが，伝染力が強い病気なので，集団生活をする場合は受けておく方が安心です。
3 位	ヘルパンギーナ	夏かぜの一種で，高熱とのどにできる水疱（すいほう）が特徴。原因となるウイルスが何種類もあるため，何回もかかってしまうことがあります。予防には手洗いが大切です。

☆☆ 注意する感染症！

●○● はしか（麻疹）

関東地方を中心に流行しています！予防に効果的なはしか・風しん混合（MR）ワクチンは，定期接種の対象年齢である1歳児と小学校入学の前年度1年間（4/1～3/31）のお子様については，無料で，京都市内の予防接種協力医療機関にて接種することができます。



☆☆ 5月に流行^{はや}った感染症

1 位	感染性胃腸炎	一年中多い感染症ですが，特に冬場に多く，5月は例年並みでした。
2 位	水ぼうそう（水痘）	5月は例年よりやや少なめでしたが，例年6月頃が多いので，注意が必要です。
3 位	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	のどの痛みと発熱で始まり，赤い発疹が全身に広がります。3～4日すると，舌がいちごのように赤くなってぷつぷつになるいちご舌とよばれる症状が特徴で，4～5歳での感染が多いです。5月は，例年に比べ多くなっていました。



詳しくは京都市衛生公害研究所ホームページをご覧ください。
(<http://www.city.kyoto.jp/hokenfukushi/eikouken/index.html>)